新潟県 胎内市

子どもたちが笑顔になる 地域が元気になる

農泊体験

主な特徴

- ○少人数のグループ体験です
- ○安心・安全を心がけています
- ○農業の素晴らしさ再発見！

◆教育効果の6本柱◆

ひとりを体験する

- ・学校で学んだことを実践する
- ・学校の先生やクラスメイトがいない
- ・他人のお宅に泊めてもらう

こころとこころがふれあう

- ・少人数（4人程度）での体験
- ・人の話をしっかり聞く
- ・大きな声で挨拶できるなど

新たな自分を発見する

- ・教わったことを即実践する
- ・達成感や充実感を味わう
- ・役に立てた喜び

褒められて自信を持つ

- ・人の優しさにふれながら作業する
- ・見守られ失敗しながら対応する
- ・お手伝いにおける創意工夫がある

生きがいや働きがいを体感する

- ・大人の考え方や技のすごさを知る
- ・仕事への熱意に共感する
- ・特別なことを身近に感じられる

食の生産現場を体感する

- ・「いただきます」の心をはぐくむ
- ・食育の3本柱「食を選ぶ力」「食事マナー」「食料環境」を学ぶ

ふるさと体験学習

胎内市の子どもは地域でしっかり育てるという基本的な考え方のもと、平成20年度から市内全小学校で実施しています。
ふるさと教育とは、「ふるさとに学び、ふるさとを学び、ふるさとに子どもたちを活かし、子どもたちの中にふるさとを残す」ことを目指しており、民泊を含め胎内市をフィールドに体験学習に取り組んでいます。

胎内市立
きのと小学校さんの場合
平成21年8月実施
（5年生　児童数41名　引率5名）

1

2

3

4

5

6

7

8

9

きのと小学校の子どもたちが撮影した写真です

1ふれあいを通して命の大切さに気づく　2とれたての野菜は丸かじりしてみたくなる　3米は八十八の手間がかかることを知ると見慣れた景色も輝いて見える　4塩焼きした魚はもうすぐ食べるよ　5新鮮な野菜を自分で調理するとおいしさも格別　6丹精込めた野菜を収穫すると充実感があふれる　7家のぬくもりを感じることができる　8水害など先代の苦労を聞き感謝の心が芽生える　9布団の上げ下ろしも自分たちで行う

農林漁家へのホームステイ

文部科学省、農林水産省、総務省の連携事業「子ども農山漁村交流プロジェクト（ふるさと夢学校）」では、子どもたちに学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育み、その健やかな成長を支える教育活動として小学校における農山漁村での長期宿泊体験活動を推進しており、民泊による農山漁村の生活を体験することもプロジェクトの大きな特徴となっている。また、新学習指導要領や教育振興基本計画における体験活動の扱いが大きくなっています。

新潟市立
葛塚小学校さんの場合
平成21年10月実施
（　児童数107名　引率7名　）

葛塚小学校の受入の様子

1緊張感が漂う対面式も次第に和やかになる　2おじいさんやおばあさんの技を感じながら一緒になって活動する　3様々な体験がふれあいの潤滑油となる　4自然にたっぷり入りこむと自然と笑みがこぼれる　5地域の文化や誇りを伝えようと受入先も工夫を凝らす　6農村や里山に暮らす魅力を次世代に伝えたい

葛塚小学校さんにお聞きしました

Q. 初めての農泊体験の実施にあたって不安はありましたか？

A. はじめてですので不安はたくさんありました。受入民家の情報は決して多くないですし、また万が一のことを考えると不安でしたね。子どもたちは楽しみにしていました。

Q. 実施してみて、その印象は変わったでしょうか？

A. 受入先に温かく迎えていただき、ホッとしたと同時に少人数ならではの体験ができて良かったです。ただし、受入先により体験内容などが異なることをあらかじめ配慮しておく必要があります。

Q. 農泊の受入先が市内全域に渡りましたが、その点はどうでしたか？

A. まとまっているとありがたいですが、受入先の都合もありますからね。できれば総合的な学習で米づくりについて学んでいることから関連ある体験ができたらいいなと思っていました。

Q. 実施後の子どもたちの感想はいかがだったでしょうか？

A. 子どもたちはとても喜んでいます。そして少し自立心が育ったように思います。指示を待つのではなく、自分たちで考えて行動できたのがよかったのでしょうか。1泊でもそう感じます。

Q. 農泊体験の教育効果はどこにあるのでしょう？

A. 食の生産に携わる人たちとかかわり、食に対する考え方や生産者の想いを知ることができると思います。そして、なにより知らない家庭にお世話になることで生まれる様々な気づきが財産になると感じました。

Q. 農泊体験を検討中の学校に向けてひと言お願いします。

A. 農泊での少人数の体験により、人任せにせず自分で考え行動することができるようになったと思います。しかし、受入先での活動は子どもの振り返りなどからの判断となりますので、受入先にアンケートをお願いすることをオススメします。

胎内市の安心10項目を推進！
コーディネートからエスコートまでお手伝いします
お気軽にお問い合わせください

胎内型ツーリズム推進協議会301人会
〒959-2822
新潟県胎内市夏井1191-1 胎内アウレッツ館内
TEL 0254-48-3321　FAX 0254-48-3323
URL http://mottotainai.seesaa.net/

新潟県 胎内市